

## 第12回 看護介護研究発表会

医療法人協愛会 阿知須共立病院

- 日時 平成30年 2月7日(木) 17:45～19:30
- 場所 2Fホール
- 司会 岡野 学 主任
- 座長 照屋妙子 主任



### 研究発表 1

#### 転倒・転落防止への取り組み ～アセスメントスコアシートの活用方法 の検討～

##### 4階地域包括ケア病棟

- 看護師 古屋静夏
- 看護師 長岡 葉

本研究では、患者の転倒転落のリスクをアセスメントスコアシートの総合点と危険度で評価するのではなく、チェックのついた項目に着目した。それにより、患者の個別性を把握し、問題点や観察点を明らかにすることで、転倒転落の予防に早期に介入できると考えたが、本研究では介入までには至らなかった。今後病棟全体で取り組めるよう改善していきたい。



### 研究発表 2

#### 重度認知症高齢者もいきいき「学べる場」 を発見！ ～利用者も職員も一緒に楽しむ レクリエーション～

##### ニューライフあじす

- 介護福祉士 宮崎京子
- 介護福祉士 藤井 彩
- 介護福祉士 山下 萌

認知棟入所者軽度と重度の利用者において「アクティビティ」と「おとなの学校」を併用、活用することで利用者の反応・効果を見ながら検討・改善を行った。今後も軽度・重度利用者の少人数制で各レベルに合ったレクリエーションを1日30分「おとなの学校メソッド」を利用し、昔の事を思い出してもらえる回想法の活用や「アクティビティ」を取り入れ、体を動かし、利用者も職員も一緒に笑って楽しめるレクリエーションを提供していきたい。



### 研究発表 3

#### 医療支援ピクトグラムを用いた情報共有によるインシデントの変化

5階一般病棟

○看護師  
看護師  
看護師

西村光生  
奥村真衣  
西村浄美

医療支援ピクトグラム介入前後でインシデントの報告数や内容、及び医療安全に対する病棟スタッフの意識の変化を検証した。今後、インシデント報告の内容を細分類してピクトグラムの改良を行い、医療事故防止に努めていく。



### 研究発表 4

#### 透析センターにおけるスタッフのゴーグル着用への意識の変化 ～透析業務での眼周囲への血液飛散の実態を調査して～

透析センター

○看護師

小林民子

血液透析業務における眼周囲への血液飛散の実態調査を行った。血液飛散実態調査結果を提示したことで、ゴーグル装着の重要性を再認識でき、ゴーグルの着用率は上昇した。



### 研究発表 5

#### ターミナルケアに携わる訪問看護師の困難感と必要な支援

すこやかナース

○看護師  
看護師

黒川玲子  
荒川智子

訪問看護師がターミナルケアで感じた困難感について当事業所に勤務する訪問看護師5名に対し1人60分程度の面接を行った。21のサブカテゴリーと41のコードが抽出された。今後は情報共有はじめチーム内の連携を取りながら困難感を乗り越えて質の向上に根差したターミナルケアが展開できるように今後も研鑽を積んでいきたい。



## 研究発表 6

### 廃用症候群患者における再入院に関わる因子の検討

～pilot studyとしての後ろ向き研究～

リハビリテーション技術科

○理学療法士 中空翔太

当院での廃用症候群患者における再入院の予測因子について基本特性は年齢のみの差を認めた。また、再入院の有無に影響を与える因子として年齢と退院時のFIM(機能的自立度評価表)の点数が抽出された。今後、栄養面や環境因子など、多角的な側面からの評価が必要である。



## 院長による総評

プレゼンテーション能力・技術・質疑  
応答は素晴らしかった。質の高い各部署の皆さんに敬意を評したい。

シームレスの医療に包含され、多方向でみていく素晴らしい発表会でした。